

収支状況

※ 2020年度の収支報告については、同封の総会資料をご覧ください。

単位：円

	2018年度	2019年度
収入		
前期繰越金	608,015	812,042
受取利子	3	6
会費(注)	0	0
寄付金他	369,210	504,328
合計	977,228	1,316,376
支出		
通信費	41,580	81,769
資料費	20,252	48,121
事務備品費	9,027	11,510
現役活動支援金	50,000	50,000
交流費	21,000	24,000
渉外費	6,846	1,728
啓発活動費(通信費除く)	16,481	112,296
総会活動費	0	59,532
合計	165,186	388,956
次期繰越金	812,042	927,420

(注) 会費は会則第9条(1)により総会時に徴収することになっていますが、2019年9月の会則改定まで総会は「2年に1回」開催のため、2018年度は総会がなく会費が発生していません。2019年総会時の会費は2020年度に計上されています。

繰越金の推移

単位：円

年度	前期繰越金	収入	支出	収支差額
2016	207,618	356,582	240,543	116,039
2017	323,657	693,984	409,626	284,358
2018	608,015	369,213	165,186	204,027
2019	812,042	504,334	388,956	115,378
2020	927,420			

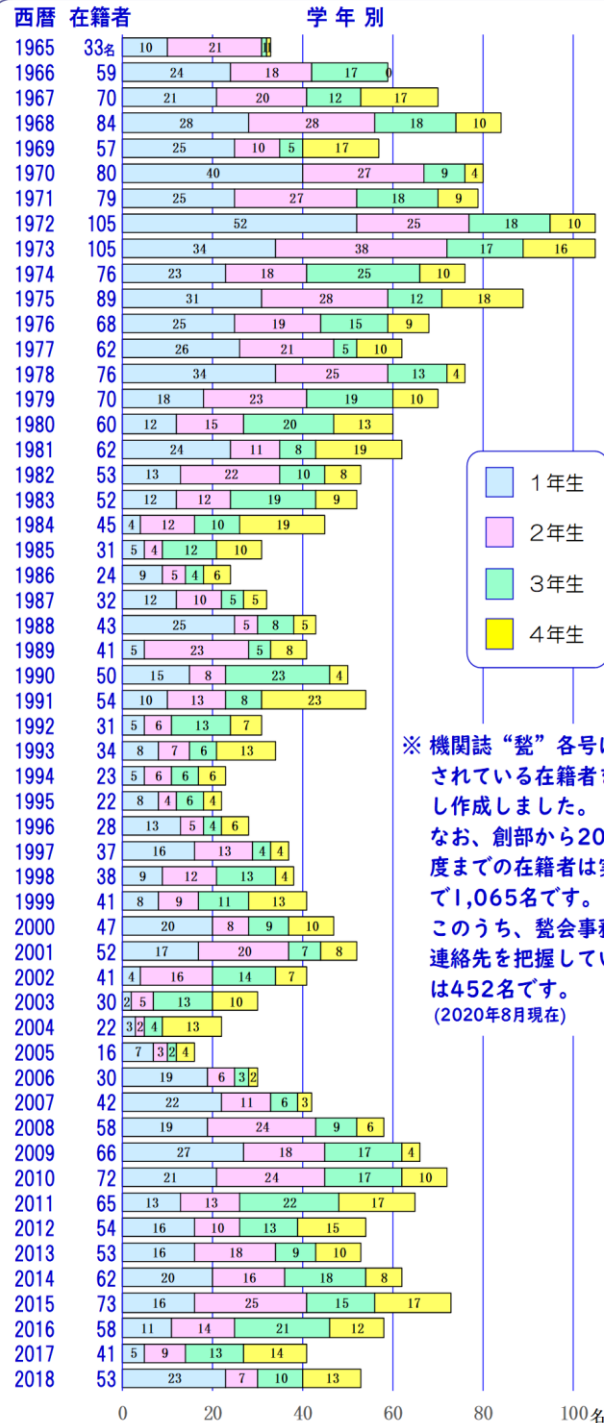
※ 2020年度の各数値については、同封の総会資料をご覧ください。

役員体制

会長	長谷川 和 芳	1974年卒
副会長[総務担当]	飯 田 貞 年	1974年卒
副会長[広報担当]	亀 村 通	1978年卒
会計	山崎(井上)百合子	1977年卒
運営役員	本 間 裕 司	1975年卒
同	大向(佐野)久二江	1977年卒
同	馬 場 郁 夫	1979年卒
同	葛 城 明 彦	1980年卒
同	中村(青木)桂子	1980年卒
監査役	小 倉 敏 一	1970年卒

※ 任期：2019年9月～2021年9月 ※ ()は旧姓

古美術研究会の在籍者数推移



※ 機関誌「贅」各号に掲載されている在籍者を集計し作成しました。なお、創部から2018年度までの在籍者は実人数で1,065名です。このうち、贅会事務局で連絡先を把握している方は452名です。(2020年8月現在)

※ このリーフレットは2020年8月に作成しました。(贅会事務局)

贅 会 会 則



<活動方針>

1. 会員相互の親睦活動
2. 青学古美研との交流と支援活動
3. 古美術研究の啓発活動

<贅会の歩み>

- 1965年4月 古美術研究会(古美研)設立
- 1968年4月 OB会組織として古美研OB会設立
- 1975年10月 古美研10周年を機に、古美研OB会を「贅会」と命名
- 同 古美研10周年記念パーティー開催(品川：高輪プリンスホテル)
- 同 機関誌「贅」10周年特別記念号発行
- 1980年11月 古美研15周年記念パーティー開催(渋谷：クリエイト)
- 1986年3月 古美研20周年記念パーティー開催(日比谷：松本楼)
- [この間、各世代で懇親会を適宜開催]
- 2012年2月 「古美研OBサロン」発足(日比谷：むつ新)
- 2012年9月 贅会ホームページ開設
- 2015年10月 古美研創立50周年記念総会・懇親会開催、会則の制定(渋谷：CAY)
- 同 機関誌「贅」50周年特別記念号発行
- 2016年3月 青山学院校友会アイビーグループ加盟
- 2016年9月 大学同窓祭初参加(以後毎年参加)
- 2017年6月 校友会ホームページアワード新人賞受賞

写真：[右上]1965年「贅」創刊号、[右下]1975年10周年記念パーティー [左]2015年50周年記念パーティー

会 則

※2015年開催の「古美研創立50周年記念総会」にて制定。
2017年、2019年に一部改定。

第1条(名称)

本会の名称を「整会」と称する。

第2条(事務所)

本会の事務所は、会長宅に置く。

第3条(会員)

本会の会員は、青山学院大学古美術研究会に在籍したことがある者で本会の目的に賛同した者とする。

第4条(目的及び事業)

本会は、会員相互の親睦を深め、青山学院大学古美術研究会との交流を図り、古美術研究の啓発発展に寄与することを目的とし、その目的を達成するための必要な事業を行う。

第5条(役員及び準役員)

1. 本会運営のために、次の役員を置く。役員の総数は10名以内とする。

会 長	1名
副 会 長(総務担当)	1名
同 (広報担当)	1名
会 計	1名
運営役員	若干名
監 査 役	1名

2. 役員は総会で選任する。任期は2年とし再任を妨げない。

ただし、75歳到達をもって退任とする。

3. 本会には、名誉会長、顧問及び相談役等準役員を若干名おくことができる。

(1) 準役員は役員会でこれを推薦し、会長がこれを委嘱する。

(2) 準役員は本会の運営につき役員会及び会長に助言することができる。

第6条(役員会)

1. 役員会は、会長が必要と認めた時及び過半数の役員の同意がある場合に開催する。

2. 役員会は、総会の議決した事項の執行に関する事項及びその他総会の議決を要しない業務の執行に関し議決する。

第7条(総会)

1. 本会は、会員による総会を原則として1年に1回開催する。

2. 会長は必要と認めた時、臨時総会を開催することができる。

3. 総会議長は会長が務め、次に定める事項の議決を行ったのち懇親会を開催する。

4. 総会の議決事項は、以下のとおりとする。

(1) 会則、事業方針等の決定及び変更

(2) 事業報告及び収支決算報告

(3) 役員を選任又は解任

(4) その他本会の運営に関する重要事項

5. 総会の議決は出席した会員の過半数をもって決し、賛否同数の場合は議長が決するところとする。

6. 会長は、総会での決議事項を速やかに整会ホームページ等にて周知する。

(整会ホームページURL <https://ishidatamikai.jimdo.com/>)

第8条(運営)

本会の運営は、会員から徴収する会費及び寄付金で行う。

第9条(会費及び寄付金)

会費及び寄付金ならびに振込先は以下のとおりとする。

(1) 会 費：総会時等必要に応じてその都度会員から1,000円程度徴収する。

主に、会の通信・運営費に充てる。

(2) 寄 付 金：一口1,000円以上とし、随時受け付ける。

主に、会の特別事業費に充てる。ただし、本会の運営に支障をきたす恐れがある場合に限り、一部を運営費に充当できる。

個々の特別事業はその都度役員会で議決のうえ実施する。

(3) 振 込 先：ゆうちょ銀行(口座記号番号)

00100-7-634149

(口座名義)「整会」(インダタミカイ)

ゆうちょ銀行以外から振込む場合は次のとおりに読み替える。

(銀行名) ゆうちょ銀行

(店名) (ゼロイチキュー) (019) 店

(預金種目) 当座

(口座番号) 0634149

(口座名義)「整会」(インダタミカイ)

第10条(会計及び監査)

1. 本会の会計年度は、毎年9月1日から翌年8月31日までとする。

2. 会長は、1年間の事業報告書、収支計算書を作成し、監査役の監査を経て総会の承認を得なければならない。

第11条(個人情報の取り扱い)

1. 本会が知り得た会員個人に関する情報については、整会及び古美術研究会の活動に係わる事項にのみ利用し、それ以外には利用しない。

2. 個人情報の取得、管理、利用は本会事務局で行い、管理責任者は会長とし管理者は副会長(総務担当)とする。

3. その他、個人情報の管理運営については、個人情報保護法に準拠し適正に対処するものとする。

第12条(細則)

この会則に定めのない事項及びこの会則の実施に必要な細則は、役員会が定める。

第13条(附則)

1. この会則は2015年10月31日に制定、2017年9月23日に改定・施行する。

2. 第10条第1項の規定にかかわらず、2018年の会計年度は、2017年10月1日から2018年8月31日までの11か月間とする。

3. この会則は2019年9月23日に改定・施行する。

活動状況

会則第4条に基づき会員相互の親睦、青学古美研との交流と支援、古美術研究の啓発を3本柱として次のような活動を展開しています。

なお、2020年度の活動報告(事業報告)は、同封の総会資料をご覧ください。

会員相互の親睦活動

● “古美術を語ろう会”の開催

毎回テーマを決めて古美術鑑賞会や史跡散策会などを年2~3回程度開催しています。

【これまでの実施イベント】

浮世絵鑑賞会、鎌倉散策会、ジョサイア・コンドルの建造物見学会など、2016以降9回実施

● 同窓祭でのイベント開催

毎年秋分の日に開催される母校同窓祭に整会として参加し、「OB・OGによる文化祭」や「現役時代の活動資料展示会」などを開催しています。

● ホームページでの情報提供

会員の近況、親睦イベントの告知や実施報告などをタイムリーに掲載しています。(ヤフーやグーグルなどで「青学 いしだたみかい」で検索してください。)

● “整会からのお知らせ”の発行

毎年1回、会報誌として“整会からのお知らせ”を発行し、ホームページでの情報を整理して会員全員にお知らせしています。

青学古美研との交流と支援活動

● 古美研役員と整会役員との意見交換

毎年1回、古美研役員と整会役員による意見交換会を行い、整会活動を紹介するとともに、現役活動の状況や課題などの意見交換を行っています。

● 青山祭等古美研活動への整会役員の参加

青山祭打上げコンパや卒業生追出しコンパなどに役員数名が参加し、現役生と交流をはかっています。

● 活動支援金の贈呈

毎年青山祭打上げコンパの席上で、活動支援金を贈呈しています。

古美術研究の啓発活動

● 講演会、展示会の開催

母校同窓祭において、古美術や歴史等に関するテーマにより、一般の方々も参加可能な講演会や展示会を開催しています。

【これまでの実施イベント】

講演会(講師): 柏田道夫氏、河合敦氏、山下克明氏
展示会: 伊藤若冲「菜蟲譜」、入江泰吉写真展など